



水戸岡デザインによるのれん

大熊 公平

市長の政治姿勢について
地産地消をどう進めるのか

問 学校給食での食材は規格・品質ともに厳しく、安心・安全なものが求められている。市長の言う「今まで流通にのらなかった野菜が商品となる」ことなどあり得ない。その言い方は生産者の誤解を招くだけだ。生産者と消費者の顔が見え、お互いの「いのち」を支え合う関係が地産地消だと考えるがどうか。

答 一生懸命に良いものを作ろうとしている農家から買い付けるシステムの構築を行う。高品質で規格の決まった給食食材を集荷することは難しい。でも困難がゆえに大いにチャレンジしていきたい。(市長)

問 街並みの再生については、成23年度で終わるが、その後

答 意向調査し意見も拝聴したが、新たな希望もない。国の事業は終わるが、まちかど郷土館、堀和平の生家など宮前筋の辺りは街並みとしてはポテンシャルの高い所なので観光プロジェクトともリンクし、水戸岡デザインによるのれん街にしたい。莫大なお金はかけられないが、将来へ向けて徐々に用意をしていければと考えている。(市長)

片岡 茂夫

阿曾の火祭りについて

問 魂火(おにび)行列で利用している登山道の除草、阿曾神社境内でのイベントを支援する考えはないか。

答 魂火行列の火が、桃太郎まつりで点火されているが、総社の最も売り物である温羅伝説の魂火は、本来的には総社の雪舟フェスタで点火すべきと考える。(市長)

問 本市の花火大会に使う火種に、火祭りの火種を使う考えはないか。

問 元町の歩道に何本もの電柱があり、安全面で問題がある。特に歩行者、シニアカーなどが通行困難となっている。改善が必要と考えるが、どうか。

魂火行列の火おこし

村木 理英

吉備路マラソンについて



総社コミュニティ協議会徳島県上勝町「もみじを集めて町おこし」の研修

問 クオリティーの意味は。中を走り、おもてなしをする。あとは人数である。(以下市長)

問 クオリティーとは、大会の品質と考える。琵琶湖毎日マラソン等、国際大会の出場権を得る大会や県内の大会でも多く公認取得大会がある。

問 公認をめざしていく。現場の把握はどうか。

問 現場に市職員は誰も来ない。これで現場が把握できるのか。

そうじゃ吉備路マラソン(ゴール付近)

笠原 武士

新予算と財政について

問 新年度予算は前年より1円たりともオーバーさせないと言いつつ、約6億円のオーバーである。理由はなぜか。

問 市民活動の母体である各地区のコミュニティに予算を出し自主活動できないか。また、山手・清音も含めた連合組織に再編成はできないか。

問 昨年を反省をどう生かしたか。来年の考えはどうか。

指標として公認を取得する考えはどうか。

答 その方本人に対する保険である。その方が第三者に与えた損害の賠償はない。今後、十分な対応をしていく。

問 岡山県警とのタイアップはどうか。

問 現場の把握はどうか。

答 総枠で予算を分配し、地域活性化のために自由に使うのもらうのが理想である。組織再編成については、現在、

職員で研究しており、ある程度まとまったら、地区とも相談させていただく。(市長)

問 担当を手分けして回れる体制を取っていききたい。

問 市管轄で90人の沿道体制である。今後、県警とタイアップしていきたい。

問 県陸連から現場への派遣は何人か。また、来年に1万5千人の大会が可能なのか。

そうじゃ吉備路マラソン(ゴール付近)